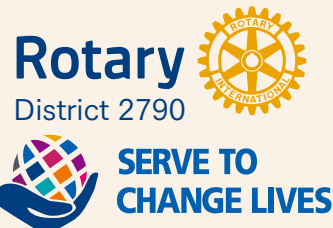


GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信 2022.6 Vol. 12



To Club Presidents and Secretaries in District 2790(CHIBA)

Copy for members

国際ロータリー第2790地区

ガバナー 梶原 等

地区スローガン

「Love Other Spirit」 ～繋ごう次世代へ 夢ある未来に向けて～



地区大会記念ゴルフ大会にて

国際ロータリー第2790地区

2021-22年度 ガバナー 梶原 等 (千葉RC)

2021年2月1日深夜23:00からロータリー史上初のオンライン国際協議会に始まったガバナー年度も残すところ一ヶ月となりました。思い返せばガバナーエレクトデジグネートに選出されたのが2018年9月末ですから、それから約4年弱という長い道程でした。途中多少の紆余曲折はありましたが、皆様とともにここまで辿り着くことができました。

ロータリーに入会してからこの7月で20年を迎えますが、その間で一番印象に残っていることは2015-16年千葉RC 櫻木さんがガバナーを務められた時、地区幹事長として各クラブに同行させていただいた時のことです。1クラブのガバナー公式訪問の懇談会の席でクラブ終結の話が持ち出され、重たい雰囲気になったのは今でも忘れられません。「何故これまで何もしてこなかったのか」「きっといろいろな問題があったのだろう」「何か解決方法がなかったのか」と様々な思いが交錯しました。

このような経験を通して、クラブの活性化の為に地区がなすべきことはクラブ基盤の再整備であるとの考えを強くしました。高潔なロータリアンがserviceの理念(職業奉仕の理念)を大切にして地域や国際社会の課題に真摯に向き合い、平和な世界を目指していくことを再認識する事がクラブの基盤再整備のスタートと考えます。ガバナー補佐の皆さんには会員基盤向上についてIMやセミナーを企画・実践して頂きました。各クラブの基盤の強化にも繋がったものと信じます。

2020年12月にRIはロータリー未来形成(SRF)の構想を発表しました。従来からの“ゾーン、地区”

から“地域、セクション”に変更することも含まれています。本年の規定審議会で2モデル地区が決められ、2030年には実施される方向の様ですが具体的な事は未知です。ここで大切なことはガバナンス構造がどの様に変化してもクラブが基本であるという事です。

そして地域のリーダーに推薦される様な人材をクラブが育てていく事であると考えます。当地区ではここ数年課題になっていたグループ再編に関してはある一定の方向性は示すことができたものと考えますが、変化の波に足を掬われないように気を付けましょう。

時代は大きな変革期を迎え、既に新しい時代に突入しています。「強いものが生き残るのではなく、変化する環境に適応したものが生き残る」とダーウィンが「種の起源」で述べています。これは生物だけでなく組織も同じであると考えます。私達ロータリーも社会の変化に適応していかなければなりません。時代の先を進まなければなりません。

世界は常に変化している

ロータリーは、この世界と共に
変化して成長していかなければならない

ロータリーの物語は
幾度も書き換えられなければならない

『ボールハリス略伝より』

2021-22年を締めくくるにあたり各クラブのロータリアンの皆様、信頼のおける精鋭のガバナー補佐、そして地区委員長、委員会の皆様、パストガバナーの皆様、本当にお世話になりました。また地区チーム、特に宇佐見研修リーダー、佐々木地区幹事長を中心とする地区幹事団の皆様、ガバナー事務所の皆様、大変お世話になりました。

最後にRI シェカール・メータ会長より「Best Rotary Days of Service」表彰状を第2790地区全ての皆様の代表として受けることができ、無上の喜びです。

心よりの感謝をこめて



一年を振り返って

国際ロータリー第 2790 地区
2021 - 22 年度地区研修リーダー
パストガバナー **宇佐見 透**
(千葉幕張 RC)

2019 年 9 月に始まるコロナウイルス感染症 (COVID-19) は全世界をパニックに巻き込み、2021-22 年度の国際協議会はバーチャルでの開催へ変更された。時差の関係から、日本時間の真夜中開催の国際会議と午後開催の分科会と毎日 2 回開かれ、しかも 11 日間に及ぶ長丁場での開催となった。

初のパソコンを駆使しての協議会は、夫人も参加され苦勞されたに違いない。しかし当時の梶原エレクトは、知識、気力共に充実しており、加えて DTTS 後はガバナー補佐をはじめ、地区内ロータリアン諸氏による協力で、無事その任務を終えようとしている。梶原丸の帰港にあたり、地区内ロータリアンの皆様に厚く御礼を申し上げると共に極めて厳しい状況に立ち向かった梶原ガバナーに敬意を表する。

近年 RI は 2017 年のビジョン声明に続き、2018 年には戦略的優先事項、そして 2019 年からは DEI (Diversity Equity Inclusion)、と次々に新たな方向性を示している。

当地区は、前年度から引き継ぐ「グループ再編とガバナー補佐」問題や「SRF の理解と検討」などがあるが、現在最も重要な課題となっているのは“クラブの活性化”だと思われる。

梶原ガバナーは地区スローガンに“Love Other Spirit”を掲げ、「ロータリーを繋いでいくことこそ重要」と示唆された。単年度制が基本のロータリーにあって、今後の地区運営を担う、漆原副ガバナー (直前 G)、小倉エレクト、鶴澤 GN、寒郡 GND、諸氏と問題点を共有することで複数年にわたるも、解決への糸口を模索する姿勢が明確に示されたと感じた。

今年度の特筆すべき活動に、他地区と連携した地区主催の大規模なプロジェクトの実施が挙げられる。「世界ポリオデー」に合わせたトレインジャック、昨年の高野山祈願に続く成田山新勝寺をはじめ、千葉神社、船橋大神宮など、地区内社殿での一斉祈願、そして SDGs に基づく大規模な海岸沿い清掃の実施に、ロータリーファミリーが加わる事で、地域の方々がロータリーへの理解関心を深める良い機会になっ

たと思う。「陰徳の美」から「ブランディング計画」を目指す、広報・公共イメージ戦略として新たな歩みを感じた。

公式訪問は AG 諸氏の積極的サポートにより 12 月末迄には全て終了し、クラブが抱える諸問題をサポートしたうえで、全ての会員に最新のロータリー情報が伝えられたと思う。

AG の方々には「ロータリー情報研究会」の統一化が指示され、職業奉仕におけるロータリアンの矜持をテーマとする内容が、また I・M に代わる「会員基盤向上セミナー」では、DLP の理解と CLP 推進による「クラブ活性化」について具体化計画の実施が指示された。

コロナ禍による会員減から AG 諸氏とガバナーに強い危機感が生まれ、「クラブ活性化」を推進する土台造りが出来たと思えた。次年度には再び増強に転ずるよう期待する。

ガバナーとしての在職期間が僅かになった 4 月には、トンガの災害支援とロシアによるウクライナ侵攻に対し、緊急メールで支援要請を呼びかけた。世界平和と国際協調を目指すロータリー精神が示され、最後まで気を抜かない梶原ガバナーの責任感の強さを感じた。

私は昨今の国際ロータリー (RI) の方向性について、具体性と統一感に欠けていると感じている。加えて対面での意思疎通が厳しいことで、多くの会員を失ったと感じているが、これからは COVID-19 との共存が図られ、クラブ活性化計画が功を奏することで小倉ガバナー年度へのバトン渡しが行われるように願う。





一年を振り返って

国際ロータリー第 2790 地区

2021 - 22 年度 地区幹事長

佐々木 高治

(千葉 RC)

昨年度より続く地区再編問題、ガバナー補佐指名問題、そして依然として続くコロナ禍、懸念された課題が解決することなく、問題山積みのままスタートをきりました。14 名のガバナー補佐が揃ったのは 2021 年の 4 月、当初予定していた時期より半年遅れです。荒波への航海であったと鮮明に記憶しております。しかしここから宇佐見透研修リーダーを中心に地区リーダー育成会議の PDG 山田修平様、齋藤博昭様、始平堂玄昌様、地区幹事とともに、過去のデータと最新の RI 情報を参考にし RI が地区に課している DLP について徹底した議論を重ね、第 2790 地区の DLP のひな型を完成させました。スタート時にこのメンバーが作成した資料が梶原年度の基になったことは言うまでもありません。

この資料がガバナー補佐の皆様に渡り、DLP を再認識していただき、今年度梶原ガバナーが目指す方針が伝わった事と思います。計 14 回のガバナー補佐会議を通じて、多くの依頼をしました。3 大プロジェクト（海岸清掃、ポリオデーにあわせたトレインジャック、ポリオ根絶 & コロナ終息祈願プロジェクト）に始まり、上期、下期のグループ共同でのセミナー開催、年 4 回以上のクラブ訪問等。全ての依頼を快くお引き受けくださり、ガバナー補佐のリーダーシップのお陰で、多くのクラブが地区の提唱したプロジェクトに賛同し行動を共にしてくださいました。改めてガバナー補佐の皆様並びに各クラブの皆様へ感謝申し上げます。

地区委員会は、コロナに負けることなくそれぞれの事業を推し進めてくださいました。そこには苦労の連続があったことと察し致します。中には延期、中止した事業もありましたが、予定した事業は無事に終わっています。地区委員の皆様、改めて感謝申し上げます。

10 月に行った地区大会は従来とは違い新しい地区大会となりました。コロナ感染症が拡大する中、中止か延期かの話し合いから始まり、予定通り 10 月に開催を決定しました。リアルに参加者は例年になく少なくなりましたが、ソーシャルディスタンスをしっかりと確保し、スケジュールを大幅に見直し 1

日開催に漕ぎつけました。安藤忠雄様の基調講演もあり、コロナ禍にあっても無事に地区大会を開催できましたのは、ホストクラブである第 3 グループの皆様の協力のお陰です。改めて感謝申し上げます。

ガバナー事務局の本田主任、大山、竹井さん 3 名の縁の下での協力にも大いに助けられました。有難うございました。ガバナー事務局がしっかりしていれば、地区の運営がこれほど違うものかと確信しました。2016 年度から始まった継続的な事務局のメリットを今年度幹事長の役を受けて改めて認識しています。地区委員会のサポートもガバナー事務局が担ってくれています。それだけ委員会の負担が軽減されています。また過去からつながる資料も整頓されており、欲しい資料を探す手間がなく、過去のデータの上書きもスムーズに行われています。地区のホームページも今後ますますアップデートされていくことでしょう。

さて最後に、梶原ガバナーは「Love Other Spirit」（愛他精神）をテーマに掲げられました。地区とクラブとのコミュニケーション不足、お互いが思いやる気持ちが欠けていたこと、それらの反省からこのテーマを決定されました。ガバナー公式訪問の卓話で各クラブにこのテーマを伝え、クラブの皆さんは好意的にこの話を受け入れていたように思います。愛他とは他人を思いやる気持ちです。ロータリーの service と同義語です。物事を頭（効率、経済等）だけで考えれば、心を忘れてしまうことがあるようです。地区とクラブは別ものではなく志を同じくしているロータリアンひとりひとりの集まりです。世界でよいことをしよう。実に簡潔明瞭な言葉です。困っている人、手を貸してほしい人に目を向けていけば、そこにクラブの活性化のヒントがあるのではないのでしょうか？そのことを気づかせていただいた一年でありました。一年間お世話になり誠に有難うございました。

ガバナー補佐 一年を振り返って

第1グループ担当 佐藤 孝彦（浦安 RC）



第2グループとの貴重な交流

梶原ガバナー年度も残すところ2ヶ月となりました。先月4月、コロナ感染症で延期を重ねていた第1・第2グループ合同の会員基盤向上セミナーも懇親会を含めて開催でき、総勢100名以上の会員のご参加を頂き無事終了することができました。感無量です。

思い返しますと、梶原ガバナーエレクトからお電話いただき、クラブ理事会の承認のもと次年度のガバナー補佐の指名を受けましたのが2020年8月の事と記憶しております。当時はグループ再編の議論が交わされているさなかで、指名当時は、合計11クラブを担当することとなっており、どうしていいものか途方に暮れていた記憶があります。また、第1グループでは、ガバナー補佐幹事の明確な位置づけがありませんでしたので、ガバナー補佐幹事につきましてもクラブ理事会と相談させていただきました。同時に、全く交流がなかった第2グループの各クラブと、梶原ガバナーエレクトご了解の上、クラブ訪問を12月から始めさせていただきました。訪問時は、地区の指名委員会から指名はされていたものの、グループをまたぐ各クラブには正式に連絡されておらず、訪問を受けられたクラブにおきましても、ご苦勞をおかけしてしまったようです。皆様方本当にありがとうございました。

最終的には、グループ再編は延期となってしまいましたが、早くからの第2グループとの交流が、その後の、梶原ガバナーが提唱する、グループをまたぐロータリー情報研究会、会員基盤向上セミナーの広域開催につながり、梶原ガバナーの地区内での強い意欲の表れとしての、グループ同士の交流につながりましたことを大変うれしく感じております。

グループの間で、細かな習慣、取り決めの差異が多くある点であることを経験しました。そうした差異を埋めることは、事務的な対処ではなかなか埋まらず、ガバナー補佐任期中の1年間では、まだまだ道半ばといった感じです。ご迷惑をおかけしました補佐、補佐幹事の方々には厚く感謝申し上げます。不完全な部分も数多く残されたと思いますが、グループをまたぐ交流をすることができましたこと、大変うれしく、貴重なものと感じております。

1年間本当にありがとうございました。

第2グループ担当 小石 裕久（船橋西 RC）



一年間を振り返って

1、ガバナー公式訪問、ガバナー補佐訪問

第2グループは、ご存知のように、船橋 RC、船橋西 RC、鎌ヶ谷 RC、船橋東 RC、船橋南 RC、船橋みなと RC の6クラブから成り立っております。これらのクラブに年間を通してガバナーと訪問したり、補佐幹事と一緒に訪問したりで、年間スケジュールに従って訪問して参りました。

その間、会長幹事会、情報研究会、地区会員基盤向上セミナーなど開催致しました。

2、ガバナー補佐会議

第2790地区の第2グループのガバナー補佐の決定が他のグループの決定より大分遅れて決まりましたので、地区の補佐会議には途中から参加した為、他のガバナー補佐の方々より地区の会議の内容を理解するのが大変であった。

途中からであったが、補佐会議での地区の取り組み活動は以下の通り実行した。

1) 地区環境保全プロジェクト

コロナ禍のために全クラブが休会中であるため、船橋西 RC だけでふなばし三番瀬海浜公園でゴミ拾い活動を行なった。

2) ポリオ根絶祈願

船橋市では古くから有名な神宮大社である船橋大神宮に第2グループの会長幹事さんに集まって頂き、また地区の米山記念奨学会の奨学生に参加して頂き、大神宮の本殿でご祈願をお願い致しました。

3) ロータリー情報研究会

長い間続いておりました情報研究会、IMについて、今までガバナー補佐の主要な行事になっておりましたが、今後は2つ以上のグループが一緒になってガバナー補佐の主催によるセミナーを開催し、第1部では地区職業奉仕委員長青木忠茂氏に卓話「市川・船橋戦争と米山梅吉の関わりを探る」との題で卓話を頂きました。

第2部では第1・第2グループの各クラブから代表して1名に、「私の仕事とロータリー」というテーマで発表して頂きました。

また、第1・第2グループ会員基盤向上セミナーが浦安ブライTONホテルで、浦安 RC と船橋西 RC のホストクラブで盛大に開催致しました。ロータリー情報委員長で、ガバナーノミニージェグネイトの寒郡茂樹氏（富里 RC）から、「最近のロータリー事情」

の卓話を頂きました。

第2部では、「奉仕プロジェクトの具体例」という題で、各クラブが独自に行なっている、又は行なっていた奉仕プロジェクトの具体例を写真を交えて発表を行った。

4)「20歳のソウル」作者 中井由梨子氏

市立船橋高校の応援歌「市船ソウル」を在校中に作曲し、20歳で生涯を終えた、浅野大義氏の短くも燃え上がる人生を描いた実話は映画化され全国公開されています。この映画が郷土の発展につながるようお願い、各クラブ会員の皆様にご案内いたします。

第3グループ担当 清田 浩義 (千葉RC)



今年度、第3グループ各クラブの会長、幹事皆さまとは『自クラブらしさとは何か?』『ロータリーの将来について』一緒に考えましょう!と提案してまいりました。第3グループで

は、期の始まる第一例会に7つのクラブをガバナー補佐、会長、幹事がそろって挨拶に周る、そうした習慣があります。

会長、幹事にとっては就任早々なので、新鮮な気持ちで他クラブの様子を伺い知ることが出来ます。クラブ会長の方針、例会のやり方や雰囲気、奉仕活動の内容など、自クラブとの違いについて、驚きをもって感じる一週間になります。あわせて、7クラブの会長幹事が毎日違うクラブをめぐり歩くので、コミュニケーションの輪も広がります。そのうえで、『自分のクラブの良さや課題』の再確認をしていただきました。

また、『Shaping Rotary's Future』2030年に向けてロータリーも大きな変化の時を迎えます。好むと好まざるとに関わらずやってくるであろう、こうした環境変化についてもみんなで話し合ひましょう!と提案しています。このように会長、幹事の皆さまと問題意識を共有しながら、間もなく一年を終えようとしています。

昨年10月に第3グループ合同での稲毛の海岸清掃(環境保全プロジェクト)やロータリーポリオデー活動(千葉神社でのポリオ、コロナ根絶祈願)を行いました。今年度もコロナ感染拡大については一進一退の状況、例会の開催や奉仕活動にも大きな影響がありました。そうした中ではありましたが、上期には『ロータリー情報研究会』下期には『会員基盤向上セミナー』をオンラインハイブリッド形式にて開催しました。一年間ガバナー補佐として地区とクラブの橋渡し役を務めてまいりましたが、会員皆様からの心温まるご協力にあたためて感謝申し上げます。

第4グループ担当 中島 東一 (千葉緑RC)



一年を振り返り

昨年3月に他のAGの皆様より少し遅れて、心の準備も出来ていない状態でAGと言う大変責任のある役職を梶原等ガバナーから任命され、早1年が過ぎました。当初は第4グループの為に自分に何が出来るだろうと色々苦慮しましたが、梶原等ガバナー並びに宇佐見透地区研修リーダーのご指導を頂きながら何とか1年間努め上げる事が出来そうです。

振り返りますと、就任当初はコロナ感染の真っ最中で、クラブに訪問することも中々難しい時期で有りました。合同幹事会も最初の2か月はリモートで行いましたが、やはり対面方式でないとお互いの意思疎通もスムーズに行かないので3回目以降は皆さんの了解のもと対面方式で行うことが出来ました。

本年度地区行事の3プロジェクトは私の説明不足も有り、第4グループの参加クラブが少なかったと思います。そのような中でも市原RCの河川敷の清掃は地域のボランティア団体「さんさん会」と合同で行い成果を挙げました。地区行事の「情報研究会」並びに「会員基盤向上セミナー」は第3グループと合同で開催し成功裏に終えることが出来ました。特に下期の「会員基盤向上セミナー」は第4グループの主管で行われ、各クラブ会長幹事はじめ会員の皆様に事前準備を含めご協力を頂き感謝申し上げます。AGとしてグループの皆様と懇親を深め、意見交換を通してクラブ活動を組み立てて行くには少し時間が足りない思いです。

今後は一会員としてグループの皆様とさらに懇親を深め、クラブ活動の役に立てればと思います。

第5グループ担当 鈴木 荘一 (君津RC)



ポール・ハリスは1922年ロータリーはこれから先を心配する周囲の声に「一番いい時代はこれからだ!」と鼓舞したように、私も微力ながら担当するグループクラブの皆様にも少しでもお役に立つこと

とを心掛け活動しました。

地区そして同じグループのクラブの情報をストレートに、シンプルに、明確にお伝えし共有する目的で「第5グループ通信」を計6号発行しました。

グループ全体の事業として、環境保全プロジェクト・ポリオ根絶祈願プロジェクトを実施しました。またロータリー情報研修会では富津シティRCの姉妹クラブである川崎マリンRCの鈴木慎二郎様に『DLP・CLPへの取り組み/財団・米山への寄付推進への挑戦』をテーマに卓話を頂く機会を得ました。

会員基盤向上セミナーでは第6・第7グループの皆様とグループを超えた活動でグループに新しい刺激を与えました。これら事業を通じRIや地区と自クラブを

照らしながらクラブの増強の参考になればと思います。

グループ内では漆原 PG の卓話をヒントに上総 RC はクラブ細則を変更し新しいクラブのスタイルを目指し始めました。富津中央 RC と富津シティ RC は「これからのロータリーを考える」と題し、クラブを超えた会合を重ね同じ市内で活動するロータリアンとして新しいベクトルを目指し活動を始めました。また木更津 RC と木更津東 RC は新しく知事に就任した熊谷知事に卓話依頼をし、合同例会を開催しました。袖ヶ浦ロータリクラブはオンライン化が一番進んでおりコロナ禍の理想的なクラブ運営をしています。君津 RC は 50 周年を記念に青少年交換事業を新たな奉仕事業として始めました。一方で伝統を大切にグループとして“真剣に残していくもの”は何か?と考えていかなければいけないと思います。「日本は中立性の高い文明を持って衝突が起こった際には仲介できるだけの力を持ちたいものだ」ロータリー財団委員長の千玄室さんのことばです。「自己の最善を他者に尽くす」今こそ、ロータリー的な生き方が求められているかもしれません。

次年度は木更津 RC の梶原芳ガバナー補佐のもとさらに輝く第 5 グループになりますこと皆様ご期待ください!!

最後に一年ともにグループを運営したガバナー補佐幹事の荒井潤一郎さん、福田順也さんに各クラブの会長幹事皆様そして君津 RC 会員皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

第 6 グループ担当 亀田 美穂 (鴨川 RC)



一年間を振り返って

今年度も昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症に振り回された一年間でした。しかしながら第 6 グループの各クラブは昨年と違い、まん延防止等重点措置の間もハイブリット形式や完全オンライン形式での例会を行い、例会を休会にすることは最低限に抑えることができました。これは各クラブのデジタル化に向けての努力の結果と感じています。

ロータリー奉仕デーでは地球環境保全プロジェクトの一環で海岸清掃、世界ポリオデーでは祈祷及びウォークラリーに参加したクラブもありました。

またコロナ禍でありながらも上半期にロータリー情報研究会、後半には会員基盤向上セミナーを開催できた事は大きな成果があったと思います。特に会員基盤向上セミナーは第 5、第 7 との 3 グループ共同開催であった為、グループの枠を超えて今後の各クラブの連携や協力に繋がっていく事が期待されます。グループ内行事の締めくくりはガバナー補佐主催のゴルフ大会で 5 月 16 日に開催いたしました。

この 1 年間、制限がありながらも様々な活動を再開することができた事は来るアフターコロナの社会に向けての大きな前進だと思っています。

最後に、梶原等ガバナーはじめ関係各位、漆原撰子パストガバナー、グループ内 6 クラブの会長・幹事そして会員の皆様に支えていただきながら貴重な経験をさせていただきましたことに心より感謝申し上げます。

第 7 グループ担当 秋葉 芳秀 (東金 RC)



一年間を振り返って

今も続いているコロナ禍の影響の下、長いような短いようなガバナー補佐の 1 年間が過ぎ去りました。この 1 年間、ロータリー活動の場を通して新しい友、新しい発見や勉強ができ、感謝しております。

私の所属する東金ロータリークラブは第 7 グループに属し、この地域の市町村は、少子高齢化に伴う人口減少と事業者数の減少が進行しております。第 7 グループの各クラブの最大関心事は何と言っても会員の拡大にあります。厚い壁が存在しているのも事実です。これからも人口や事業者が減少する地域社会の中で、どうすれば会員を増やせるのか、どうすれば壁を突破できるのか、真剣に模索しております。

私は、例えば適切ではありませんが、新会員獲得の手法として「販売」と「マーケティング」の違いに似ていると考えるようになりました。「販売」は何が売れているか、何を売りたいか、どうすれば売れるのかというデータを集め、己が持っている商品を売ることでしょう。他方「マーケティング」は、お客は何を買いたいか、何を必要としているのか、求める価値は何なのかを探り、お客に教えてもらう手法のようです。この視点でロータリークラブへの入会促進手法を考えると、私達の実践活動に幅が出てくるな、と思うようになりました。地域社会は何に困っているのか、私達にどういうことを期待しているのか、等々を良く調べ、私達のクラブに相応しい奉仕活動を見つけ、そして行動し、その過程で知り合った友に入会を勧めてはどうでしょうか。そして地域社会に無くてはならないロータリークラブの存在を目指しましょう。

第 8 グループ担当 神崎 薫 (旭 RC)



ガバナー補佐の任期もあと少しとなった今、一年を振り返り思うことは、前年度より引き継ぎのグループ再編による、第 8 グループと第 9 グループを統合することにより、今までの輪番の流れが変わる事もあり、ガバナー補佐の選出方法で、大変もめるところからのスタートで有りました。受任し出席できたのは第 5 回補佐会議からで、出遅れを感じながらの参加でした。合わせて、新型コロナウイルスの感染が止まらず、緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置が相次いで発動されるなど、地区運営、クラブ運営も難しい中での活動で有りましたが、地区としては、世界が

リオデー祈願やトレインジャック、環境保全プロジェクト等計画が遂行でき、各クラブも計画された事業の一部は取りやめや規模縮小もありましたがおよその計画は遂行できたのではないかと思います。

ロータリークラブに限らない事です、仕組みを変えることの難しさを感じた1年でした。

地区とクラブの温度差も感じられ、今後補佐の一番の取組み課題でしょう。グループ再編は、停止されましたがSRF未来形成が動き出す事ですのでこの大きなうねりに対応できる様、各クラブは一層のコミュニケーション強化に励むことが一番の課題ではないかと思えます。

1年の任期は、どうする事が良いか分かりかけたころには満了です。補佐の業務がなかなか思う様にできなかったことに反省する次第です。

第9グループ担当 白鳥 晴嗣 (小見川 RC)



一年間を振り返って

第9グループは輪番制でガバナー補佐をお願いしていて、2年ほど前に当クラブの会長よりクラブとしての順番だからとお願いされて次年度のガバナー補佐を引き受けましたが、その数ヶ月後にガバナー補佐はガバナーが指名することになり、白紙状態になりました。私も正直言ってガバナー補佐という大役を引き受ける自信もなく安堵の気持ちでいました。暫く経ってから会長より再度ガバナー補佐をお願いしたいと言われ、かなり迷いましたが今は退会された先輩の言葉「ロータリーにはNOは無いから」を思い出して引き受けたのが現状です。

ガバナー補佐会議に出席したのが2021年4月に開催された5回目からです。かなり遅く準備も出来ないままの辛いスタートでした。コロナ禍の中で十分な活動も出来ませんでした。第9グループの各クラブの会長・幹事さんまた会員の皆様に暖かいご支援とご協力を頂き心から感謝申し上げます。また第7グループ秋葉芳秀ガバナー補佐様には情報研究会の講師が当グループ内在住の高橋宗寛和尚様ということで合同開催のお話を頂き初めて第7グループの会員の皆様と交流ができたことは本当に素晴らしい機会を頂き感謝申し上げます。会員基盤向上セミナーは第8グループ神崎薫ガバナー補佐と「グループ再編成」という問題に向き合いながら第8・第9グループの共同開催いたしました。グループ再編成と会員基盤向上セミナー開催に関しての打ち合わせ等を通じて両グループは親睦を深められたことは大変素晴らしいことだったと思います。これを機会にグループの枠を超えて多くのロータリアンと出会い親睦を深められる事を次年度に引き継いで行きたいと思えます。

第10グループ担当 堀口 路加 (成田 RC)



一年を振り返って

ガバナー補佐としての一年間、ガバナー補佐会議やリーダー育成会議のガバナー補佐研修、グループ内クラブ訪問や会長・幹事会を通じて、これまで断片的な理解にとどまっていた自分自身のロータリー観を正し、それ以前に比べれば鍛錬された思いがします。そして今なお思うことは私自身のロータリーに対する理解はまだまだだということです。

この一年間、コロナ禍で傷む経営者、ウクライナの戦争で激変する世界と経済、その陰で犠牲となっていく方々の生活と命に思いを重ねながら、ロータリーの人道支援や奉仕プロジェクトが果たす意味を考える機会が増えました。

ロータリーのビジョン声明と4項目の戦略的優先事項が示されて、ロータリーの戦略計画のイメージと2019-20年度から向こう5年間にわたるロータリーの行動計画が打ち出されても、クラブの関心と理解には乖離があって、ガバナー補佐の役割は十分には果たせなかったと振り返っています。

クラブ訪問を通じて戦略計画の立案を働きかけましたが、これもクラブ自身がその必要性を実感しない限りなかなか進まないことも感じました。現状肯定と現状に目をつぶって今のままで良いというのは違うことは誰もが分かっていることです。気が付いたら衰退の一途を辿って抜け出せない、こうなる前に手を打たなければならないわけで、一つの方法が会員の満足度アンケートであり、クラブ活力度テストだろうと思います。次年度はクラブで戦略計画委員会を担当します。ガバナー補佐の経験をクラブの活性化に活かしたいと思います。一年間お世話になりました。

第11グループ担当 佐々木 るみ子 (柏東 RC)



ガバナー補佐としての活動は、コロナ禍で始まり『新しいロータリー』を模索した一年でした。

第1回会長・幹事会から対面会議についての各クラブの意向相違により、混乱がありました。急遽、非対面を希望される会長・幹事さんには、テレビ電話にて対応させて頂きましたが、つくづく対面での『コミュニケーション』の必要性、大切さを痛感致しました。

しかし、私たちも変わらなくてはならないのです。このコロナ禍で、顔は知ってはいますが、人となり、各クラブの意向等の見えないスタートには戸惑いを感じながら、先ずは会えない中でどの様に『信頼関係や私の人間性』を分かってもらえるか？の試行錯誤の一年でした。

LINE ツールを大いに活用することにしました。ガバ

ナー補佐会議の内容をいち早くお伝えする事が、ガバナーの意向や地区の情報等を正確に伝えられると思われました。(正式文章では伝えてづらい話し言葉、伝えたいニュアンスを盛り込んで女性目線で柔らかくを意識して) 11 グループが一つに団結するにはを一番に考え、私が余り前に出ずに各クラブの会長・幹事さんにプロジェクトごとのリーダーになって貰い(地区プロジェクトを、それにあてました) 各会長・幹事さんが参加している、そして、担当のプロジェクトの成功に力を注いでもらえると考えました。

また、今年度の課題の一つである『各クラブ 戦略計画をたてる』を実行してもらう様に各クラブ訪問時に丁寧に説明をさせて頂きました。すべてのクラブでは有りませんが、クラブの中長期計画、目標等が一部の会員(時の会長・幹事、理事会)だけで決められていた様に感じました。なので、戦略委員会の立ち上げをご説明させて頂きました。『あっという間の一年でした』

第 12 グループ担当 山本 美代子 (習志野中央 RC)



今年度、梶原ガバナーは地区スローガンとして「Love Other Spirit」～繋ごう次世代へ夢ある未来に向けて～を掲げられました。

今年度からロータリーの重点分野に環境が加わり、きれいな地球環境を次世代に繋いでいくという事で、海岸清掃から始まりました。ポリオ根絶も学友を交えて、大勢のロータリアンが関わり、梶原ガバナー年度が始まりました。そんな中、コロナ禍により、会長幹事会やクラブ訪問が思うように活動が出来ませんでした。ガバナー公式訪問が順調に終わる事が出来ました事に感謝いたします。今年度、ガバナー補佐として大きな行事が二つありました。情報研究会、会員基盤向上セミナーです。情報研究会では、コロナ禍ではありましたが98名の参加で、第12グループの皆様と有意義な時間を過ごす事ができました。

会員基盤向上セミナーは、会員増強の成功事例、奉仕プロジェクト継続事業の事例などを12グループ内のクラブに発表して頂き、素晴らしい内容の発表となりました。各クラブで活性化に向けて参考にして頂き、次年度に繋げて頂ければと思います。12グループは7つのクラブで結成されておりますが、各クラブ会長幹事様には大変なご協力を頂きました。また、12グループのロータリアンの皆様には、情報研究会、会員基盤向上セミナー、ガバナー公式訪問、クラブ訪問など、コロナ禍の中、多大なるご協力を頂き感謝申し上げます。

山崎由美補佐幹事と共に御礼申し上げます。ありがとうございました。

第 13 グループ担当 織田 信幸 (松戸 RC)



ガバナー補佐の任期もあと1カ月余りとなりました。

この間、グループ内クラブの会長、幹事の皆様にお支え頂き心から感謝申し上げます。

振り返るとコロナ禍の影響でロータリー活動が制限される中、梶原年度体制が動き始めた一昨年の11月から今日に至るまで緊急事態宣言とまん延防止等措置が発令された期間は実に8カ月に及びます。

この間、予定された日程でのガバナー公式訪問の延期や、秋に予定していたロータリー情報研究会は会場制限のため中止にせざるを得ない結果となりました。

しかしながら各クラブ間の情報交換の場である会長・幹事会は感染予防対策を講じた上で定期的に行うことが出来たこと。また、2月のI・M(インタシティーミーティング)がリアルとリモートを併用したハイブリッド方式でありましたが何とか開催に漕ぎ着けることが出来たこと、そして4月には毎年の恒例行事である5クラブ親睦ゴルフが開催されクラブ・会員間の交流が出来たことは何よりでありました。

今年度、梶原ガバナーはガバナー補佐の役割としてクラブへの支援や助言、クラブ側から地区やRIへの質問や要望、逆にRIや地区からの要望や依頼事項を敏速、且つ効果的な橋渡しの役割を今まで以上に発揮することを要請しました。果たしてその役割を全う出来たのか反省すること多々ありますがクラブ訪問を通じ各クラブの会長・幹事やリーダーたちとの連携を深め、様々な取り組みに対し微力ながらもお手伝いが出来たのではと自負しております。

今後は、この経験を活かし引き続きロータリー活動に邁進して行きたいと思っております。

本当にありがとうございました。

第 14 グループ担当 平井 賢俊 (流山 RC)



一年を振り返って

2021年3月にガバナー補佐を引き受けなければという話が出てきました。グループ再編により流山RCは補佐の話がないものとはばかり思っていたので大変戸惑ったことを鮮明に記憶しております。3月22日に会長エレクトセミナーの動画と写真撮影のため三井ガーデンホテルへお伺いしたのが最初のスタートでした。その後ガバナー補佐会議やDLP研修を受けることによって、ロータリーへの理解を深めるとともに大変な役を引き受けることになったとの思いが強くなりました。

そのような中、第14グループは7月にガバナー公式訪問を梶原ガバナーをはじめ地区役員の方、各クラブの皆様のご協力により野田3クラブ・流山2クラブ

合同でそれぞれにて行いました。また、情報研究会を2021年11月11日に第11グループと第14グループ合同で行いました。私自身他グループとの合同での開催は初めての事でしたが、新たなクラブ間との交流は大変刺激になりました。2022年4月2日には第14グループ会員基盤向上セミナーを開催し懇親会も含め親睦を深められたことを大変うれしく思っております。

今年度もコロナ禍という状況により多くの活動が制限されてしまい例会訪問も儘ならない状況となり、ガバナー補佐としての役割を十分に果たすことができず

心苦しい限りですが、各クラブの会長・幹事及び会員の皆様にはご協力を賜りましたこと大変感謝しております。

ただこのような状況でも ZOOM 等を使用した例会や事業を行なえたことは新たなロータリー活動に向けてスタートを切るきっかけになったのではないかと思います。

最後になりますが、ガバナー補佐として貴重な経験が出来たことに感謝いたします。

本当に有難うございました。

委員長 一年を振り返って

管理運営統括委員会

統括委員長 中村 俊人（柏東 RC）



一年を振り返り

2021年7月に始まり早くも一年を迎えることになりました。コロナ禍に始まり、まだ終息の先も見えない中で、今年度の管理運営統括委員会は、各委員会との協力の元、今現在に可能な中で計画を練り、お互いの相互の協力を仕合ながら、昨年の予算が維持されている委員会や、予算が減額になった委員会も含めての活動となりました。

その中で考えられたのが、現在の厳しい環境の中でも各クラブが活動している事を、地区内のロータリアンに知ってもらうために11月21日にTKPガーデンシティ千葉に於いて「ロータリーを楽しもう」をテーマに、三委員会合同セミナーを開催して、現況の各委員会の活動をお伝えいたしました。

フェローシップ・親睦活動委員会は各同好会の皆様に活動内容を報告してもらいました。また新しい試みとしての地区内ロータリアンを結ぶ千葉県ロータリーマップを作成しました。

広報・公共イメージ向上委員会は、海岸清掃や護摩祈願など今年度の地区の活動内容を従来以上にSNSを駆使し、地区内外へ広報することに大きな役割を担って頂きました。

クラブ奉仕・会員増強・基盤向上委員会に於きましては、今後のクラブ内の会員の皆様が、退会防止や増強に向けていかに継続性のある活動へ繋がられるかなど、時間が足りない中でも中身の濃いセミナーが開けたことに感謝しております。

ロータリー研修委員会に於きましては、地区役員の皆様にご協力戴き、各クラブへと卓話訪問やオンラインによる今後のロータリーについての大切な事を伝達して頂きました。

今年度活動にご協力頂きましたクラブやロータリアンの皆様方には 感謝・御礼を申し上げます。

奉仕プロジェクト統括委員会

統括委員長 猫田 岳治（柏南 RC）



「ロータリークラブはボランティア団体である。」とよく言われます。しかし、本当にそうでしょうか？ 正確には、「奉仕をする人が集まる団体」、「奉仕をする心を育てる団体」なのではないでしょうか？

我々は皆ロータリアンである。ロータリアンである前に家庭人であり、職業人であり、社会人であります。よきロータリアンはよき家庭人。よきロータリアンはよき職業人。よきロータリアンはよき社会人であります。そして、ロータリー活動を通じて育まれた奉仕の心で、家庭に職場に、そして社会に奉仕を実践していくのではないのでしょうか。

ロータリー運動の実体を表す言葉で「入りて学び、出でて奉仕せよ」があります。様々な職業の経営者が週一回例会に集い、例会の場で、職業上の発想の交換を通じて、分かち合いの精神による事業の永続性を学び、友情を深め、自己改善を図り、その結果として奉仕の心が育まれます。この一連の例会における活動を親睦というのです。宴会やゴルフを企画することだけが親睦ではありません。例会で高められた奉仕の心を家庭、職場、社会で実践していくのです。このようにロータリークラブで各人が自身の心持や習慣を変えていくことに魅力があるのです。などと、偉そうなことを申しましたが、実は一番学んだのはこの私のような気がいたします。

奉仕プロジェクト統括委員長という大役をいただいて、私の「奉仕」「親睦」に対する考え方が大きく変わりました。これは私の好きな「心が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる。」にあたります。

ロータリー活動を通して実りある人生にして行く所存です。

青少年奉仕統括委員会

統括委員長 嘉規 洋（船橋西 RC）



ウィズコロナに向けて試行錯誤

前年度はコロナウイルス感染拡大防止により中止となったプログラムが、今年度は感染予防を十分に考慮してオンラインやリアル形式で開催または開催する予定です。オンライン形式は非接触であり、時間や場所に制約されないというメリットはありますが、リアル形式のようなコミュニケーションがうまく取れないなどのデメリットもあります。ウィズコロナに向けてメリット・デメリットを考慮し、プログラムの開催方法やその内容について試行錯誤した一年間でした。

委員会の主な活動をご紹介します。ローターアクトの第50回の年次大会が、5月21日に開催予定です。インターアクトの年次大会は8月18日に大原高校をホスト校としてオンラインで開催することが出来ました。青少年交換は計画通り選考が行なわれ、長期留学2名の派遣先はインドとデンマーク、短期留学3名は米国に決まりました。RYLAセミナーは当初2月5日で計画していましたが、コロナウイルスの感染が拡大したため、6月25日に延期して開催する予定です。青少年奉仕・地区学友会委員会の「ロータリー学友と繋がるセミナー」は、3月5日にオンラインで開催されました。私事ですが、昨年の10月から約5ヵ月間の病気治療・療養のため、ロータリー活動離脱を余儀なくされました。地区や委員会の皆様大変ご心配、ご迷惑をお掛けしましたことへのお詫びと暖かい励ましのお言葉を頂いたことに感謝申し上げます。ロータリアンの皆様におかれましては、青少年奉仕プログラムに協力・ご参加頂き、誠にありがとうございました。次年度もよろしくお願いいたします。

ロータリー財団統括委員会

統括委員長 寺嶋 哲生（柏 RC）



2021-22 年度を振り返って

諸岡ガバナー年度の後半から始まったコロナ禍ですが、梶原ガバナー年度においても感染が終息せず、年度当初からインパーソンの諸行事が制約される環境が続きました。

財団統括委員会でも毎月の定例会議すらオンラインでの開催を余儀なくされ、親しく懇談会が開催できたのは師走も半ばを過ぎた頃でありました。

しかしながら統括委員会として取り組むべき事業は例年と変わらずに充実し、取り分け本年度に派遣した財団奨学生は全員が素晴らしい可能性に満ちた若者達でありました。

奨学生と何度か重ねたオリエンテーションでは、「皆さんのような志の高い方々を支援できることは、我々ロータリアンの本懐である」、私はそのようにご挨拶を

申し上げました。

また、2022-23 年度に向けた地区補助金・グローバル補助金の審査は、地区奉仕プロジェクト統括委員会との合同で行い、宇佐見財団委員長以来の構想を定着させ、今後とも継続して行う基礎が整ったものと思われま

更に、ロシアによるウクライナ侵攻に対応し、2022 年 4 月 30 日までに行われた「ロータリー災害救援基金」に対する寄付は優先的にウクライナ支援に使うとのロータリー財団の緊急措置に応じ、多くのクラブから多額のご協力を得られたことは改めてロータリアンの善意を確認する思い出深い出来事でありました。

コロナ禍という逆風にも関わらず、高いモチベーションを保ちながら真摯に使命を果たして頂いた時田副統括委員長始め全委員長・全委員の皆様、心より敬意を表し、心より感謝を申し上げ、本年度のご報告とさせていただきます。

米山記念奨学委員会

委員長 森 秀樹（柏南 RC）



2021-22 梶原ガバナー年度における米山記念奨学委員会としての活動は、オンラインを活用して可能な限りカリキュラムを遂行することを目標にしておりました。具体的には米山奨学生が全員集合したのは4月・7月・12月・3月の4回ですが、その間に5月・6月・8月・1月とオンラインの研修会と個別に出張卓話の機会を設けました。また、10月のポリオデーは第2790地区内で分散開催となりましたがポリオTシャツを着た米山奨学生を各会場に参加させていただきました。開催に際しご尽力いただいた皆様には書面ですがお礼申し上げます。

梶原ガバナーの掲げられた一人 15,000 円の御寄付についてです。今年度は早い段階での目標達成という成果を頂きました。しかしながら、この実績は市原中央 RC が 350 万円を超える寄付金を集めて頂いたことが大きく、続いて八千代 RC、千葉 RC、市原 RC、成田 RC から 150 ～ 200 万円を超える寄付金をいただきました。（3月末実績）14 人のガバナー補佐を筆頭にクラブの会長・幹事・米山委員長におかれましてはご無理をお願いし、苦勞をお掛けしたと思います。

しかしロータリークラブの原点である会員は皆平等であると言う点から一言。一部の会員、一部のクラブ、特定のグループだけが大きく目標を超えた事で梶原ガバナーからのミッションは達成出来ましたが依然として地区内には特別寄付の寄付ゼロクラブが存在します。

ガバナー月信の記事として相応しくありませんが上記のクラブのように会員が 50 ～ 100 人在籍の BIG クラブと皆同じ土俵で語れない課題なのは理解しております。もうすぐ始まる小倉ガバナー年度への大きな宿題をいただいたという事で結びとさせていただきます。

2021-22 地区グループ再編会議からのご報告

地区グループ再編会議 議長 鵜沢和広（千葉若潮 RC）

昨年度より地区の懸案となっておりました地区グループ再編につきまして梶原ガバナー年度の担当議長と致しまして最後の報告をさせていただきます。ガバナー月信やガバナー補佐会議でも報告して参りましたが結論から申し上げますと現在の地区グループの再編は行わず 14 グループのままで続行することと致しました。一部のグループに合流して頂く案も考えましたが当該グループの方々との意見交換を行った結果グループの合流を行わない結論に至りました。

私が地区グループ再編会議議長を拝命して何故グループの再編が必用なのかを検証していく中で第 2790 地区のグループ数が日本のロータリー 34 地区の中で最も多いことに気づきました。会員数 4,800 人を超える第 2760 地区(愛知県全域)でもグループ数は 8 つです。つまりガバナー補佐は 8 名という事です。日本の 34 地区の平均は 8 ～ 9 グループで最少が 4 グループ最多が 14 グループ(第 2790 地区のみ)です。つまりガバナー補佐の人数を少なくしてガバナンス構造を合理化してガバナーとガバナー補佐の距離を縮め地区の運営をよりスムーズなものにしたいとの思いがあったのではないかと考えに至りました。ガバナーにとってはガバナンス構造を合理化することで得るメリットが大きいのと思われませんが、これにより影響を受けるクラブ会員の皆さんにとってはデメリットが大きかったのです。私も 2023 年 7 月にガバナーに就任するにあたり本年 4 月に 2023-2024 年度のガバナー補佐の推薦を各クラブにお願いしております。ガバナー 1 人の力では地区内 82 クラブ

を纏めクラブの活性化を押し進めることは出来ません。ガバナーの立場としてはガバナー補佐の方々にガバナーの考えを理解してもらいそれに沿った活動をして頂く事が最重要課題であります。私はその為にガバナンス構造の見直しは必要であると感じます。

次年度も私は小倉ガバナーの組織で引き続き地区グループ再編会議の議長を務めます。つまりグループの再編は今後一切行わないのではなくて検証を重ねクラブとの対話を重ねて改良を加える準備を怠らない事が必要です。これを読まれた方の中で次年度すぐに地区グループ再編が進行すると勘違いをされる方がいらっしゃるかもしれませんが決してそういう事ではありません。ガバナンス構造の合理化は必要であり同時にクラブ会員の皆さんの理解も不可欠であるという大前提を損なうことなく研究を進めて行くという事です。

ガバナーエレクトにとって一番大切なことは地区チームの編成を出来るだけ早く行う事です。特にガバナー補佐は自分の分身として年度を成功に導く為に必要不可欠な存在です。ガバナー補佐エレクトが早くから決まって準備をして頂く事がガバナー補佐としての責務を果たす上で効果的であると思います。従って地区グループ再編はガバナー補佐エレクトの選任との関連性が大きいので慎重に進めるべきと考えております。

最後に地区グループ再編というデリケートな会議で一緒に協議を重ねて頂いたグループ再編会議メンバーの皆さんに心から感謝を申し上げ私からの報告と致します。

シェカール・メータ国際ロータリー会長より表彰



シェカール・メータ国際ロータリー会長より表彰を頂きました。

2021 年 9 月に地区が推奨しました環境保全プロジェクト(海岸清掃)は日本の全ての地区(34 地区)がこのプロジェクトに取り組みました。

そして RID2820 (茨城県)から始まった、この運動が最終的には海外 30 か国、100

以上の地区、245 団体、参加総数としては 35,000 人に広がり大きなインパクトとなりました。



第14グループ 会員基盤向上セミナー報告

第14グループガバナー補佐 平井賢俊

第14グループの会員基盤向上セミナー並びに合同例会を2022年4月2日(土曜日)に14時点鐘で柏日本閣にて45名の参加を頂き開催致しました。

本来であれば2月開催の予定でしたがコロナ感染症により開催を4月に延期し、まん延防止措置が解除されたことにより、感染対策を万全に行い会員参加による開催とさせて頂きました。

ご来賓として流山市長 井崎義治様、リーダーとして第2790地区ロータリー財団統括委員長でパストガバナーの寺嶋哲生様にご臨席を賜りました。リーダーの基調講演におきましては、ロータリーの歴史を踏まえながらロータリーの為すべき事、奉仕の理念とそれに伴いどう行動すべきかなど活動を行う上での根幹のお話を頂き、大変貴重な講演となりました。その後に5クラブ会長エレクトの皆様に「Rotary's Up ate」～会員基盤向上と新たな奉仕活動に向けて～のテーマに沿ったクラブの

魅力や奉仕活動そして来年度の抱負を発表頂き、リーダーによる総評を頂きました。また、直前 AG に記念品贈呈と、次期 AG のご紹介を致しました。全てが終了したのち感染症対策を十分講じた上ででしたが、懇親会を開催し親睦を深める機会を得られたこと大変うれしく思っております。



～創立50周年を迎えて～ 君津ロータリークラブ

君津ロータリークラブ 会長 岡野 祐

4月23日、君津RC創立50周年式典が執り行われました。式典には、地区ガバナー 梶原等様、君津市長 石井宏子様、衆議院議員 浜田靖一様、日本製鉄(株)東日本製鉄所君津地区副所長 高松利明様、スポンサークラブ木更津RC会長 藤平貞順様、姉妹クラブの甲府東RC会長 野澤英彦様を始め、多数のご来賓の皆様、地区内外のロータリアンのご臨席を賜りました。記念事業として人見神社への時計塔の寄贈、ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付、君津市教育振興への寄付をさせて頂きました。第2部として雅楽道友会の演奏、記念講演では、作家の竹田恒泰様をお招きして「日本人の原点とこれからの日本」という演台で講演して頂きました。約170余人が一堂に集い節目を祝って頂きました。当クラブは昭和45年君津市誕生を機に、昭和47年にチャーターメンバー24名

で、地区内では43番目のRCとして設立されました。50年という歴史を繋いでこれたのは、当クラブ特性の会員構成であります。創立から会員は日本製鉄(株)様と関連企業の代表、地元企業の代表、専門職の方々と構成されております。この双方の交流を円滑にし、融和を図る事がクラブ運営の一大方針であり、50年経った今も変わる事なく続いています。そして奉仕活動は、親子体験枝豆収穫祭・君津RC杯少年野球大会・きみつ愛児園クリスマス会・君津駅花植え事業・小中学校への出前教室、年末には社会福祉協議会への寄付をさせて頂いています。今後も環境問題や青少年育成など色々な奉仕活動を実践していく覚悟で御座います。この50周年を起点に持続可能なクラブ運営・奉仕活動をしていく為に新たな出発をしていきます。



第 2790 地区『RLI10 周年記念の集い』開催

2021-22 年度 RLI 推進委員会 委員長 狩野文夫 (船橋 RC)

第 2790 地区において平成 22 年 (2010 年 PG 織田年度) 草の根 (Grass Roots) 運動からスタートして、Rotarian 各位のご理解、ご協力とご参加によりロータリー・リーダーシップ研究会 (Rotary Leadership Institute) 略して RLI は、12 年目を迎えることが出来ました。これもひとえに Rotarian の賜物と感謝しております。

2021 年 (漆原摂子 G 年度) に 10 周年を祝う会を準備しましたが、世界中で蔓延する新型コロナと経験したことのない重苦しい空気の中、またもや追い打ち掛けるような、ロシアによるウクライナ侵攻。ウクライナ戦争がはじまりました。10 周年記念事業、大勢を集めての会食の伴う会合は止めようかと言う事も議論しました。しかし、10 年の節目を大切にしたいという Rotarian・DL (ディスカッションリーダー) の気持ちを大切に準備をしまいいました結果、無事 5 月 8 日 (日) に、RLI 日本支部委員長北清治様、同じく FT (ファシリテーター) 委員長中村靖治様はじめ 100 数名の他地区と 2790 地区の Rotarian (DL = ディスカッションリーダー) が集まり開催されました。

冒頭に 21-22 年度第 2790 地区 RLI 地区代表委員の梶原等ガバナーが挨拶。RLI 日本支部委員長北清治様の挨拶後に、梶原等地区代表委員から、RLI 日本支部 FT 委員長中村靖治様と、第 2790 地区パストガバナー白鳥政孝様に、感謝状並びに記念品が贈呈され、パストガバナー白鳥政孝様には、地区内黎明期の詳細な苦労話をスピーチして貰いました。FT 委員長中村靖治様には、日本 34 地区の RLI の現況を分かりやすくスピーチして貰いました。



記念祝賀会会食を伴い、テーブルごとに集合写真撮影、初期から 10 期の方々のショートスピーチで、当時の本音のリアルな話題がストレートに飛び出し、宴会に賑わいのある話題に爆笑の場面もありました。

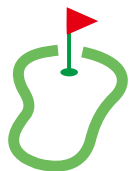
ウクライナ戦争で何も出来ない歯がゆさとジレンマがあり、開催の賛否を議論したことが嘘のような、出席して貰いました Rotarian 祝賀会を盛り上げて貰いました。また、RLI を通しての自クラブ、各グループを越えた、地区内、他地区とのコミュニケーションのツールの一つになっていることを、この祝賀会を通して肌で感じました。

コロナも終息していない為に、会食の時間にも制限がある中、RLI 当日配布資料冒頭のマザーテレサの言葉を思い出しながら互いの理解を深めあう RLI は必要であることを痛感しました。

今後益々 DL であることを矜持し参加者との絆を深め合い 10 年後より多くの DL が誕生しクラブや地区が活性化する事をお祈りつつお開きになりました。

ご参加の Rotarian には PG 諸岡様の米屋の RLI マーク入りどら焼きをお土産にしました。





第2790地区 2021-22年度 地区大会記念ゴルフ大会

2022年5月23日(月) 東急セブンハンドレッドクラブ

ゴルフ大会会長 川崎 鉄男



地区大会記念ゴルフ大会成績

○女子の部

順位	氏名
優勝	中野 聖子(千葉若潮RC)
準優勝	洪 美秀(鎌ヶ谷RC)
3位	日野 久美子(船橋みなとRC)



○男子の部

順位	氏名
優勝	野城 隆憲(千葉西RC)
準優勝	小笠原 大介(習志野中央RC)
3位	中島 貞好(八千代RC)



○シニアの部

順位	氏名
優勝	青木 真人(八日市場RC)
準優勝	浅野 正敏(八千代RC)
3位	引地 素久(四街道RC)

○クラブチーム対抗

順位	クラブ名
優勝	千葉若潮RC
準優勝	千葉西RC
3位	習志野中央RC



叙勲・褒賞・表彰（敬称略）

旭日小綬章



野村 進一
（上総 RC）



秋葉 吉秋
（茂原 RC）

旭日双光章



三 枝 巖
（茂原 RC）

旭日単光章



鶴野 航三
（八日市場 RC）

瑞宝双光章



浅野 玄航
（勝浦 RC）



林 正 彦
（茂原 RC）

寄付者紹介（敬称略）

ロータリー財団寄付

メジャードナー



崎山 征雄
（習志野中央 RC）

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



岡 島 昭信
（柏西 RC）
8 回目



鈴木 桂三
（柏西 RC）
8 回目



友野 俊政
（柏南 RC）
4 回目



荒井 光一
（我孫子 RC）
2 回目



川上 伸夫
（松戸西 RC）
2 回目

新ベネファクター



荒井 光一
（我孫子 RC）

年次基金 災害救援基金



伊 東 弘 樹
（習志野中央 RC）



尾 崎 共 純
（習志野中央 RC）



三代川 文史朗
（習志野中央 RC）

米山功労者



崎山 征雄
（習志野中央 RC）
36 回目



大 岩 将 道
（銚子 RC）
10 回目



三代川 文史朗
（習志野中央 RC）
6 回目

新ロータリアン（敬称略）



飛 田 友 広
（市原 RC）
総合建設業
12 月 2 日



白 須 賀 薫
（流山 RC）
保育園経営
3 月 1 日



岡 本 真 太 朗
（市原 RC）
不動産管理
3 月 17 日



高 瀬 勝
（東金 RC）
地方銀行
4 月 1 日



浅 野 秀 樹
（柏西 RC）
百貨店
4 月 1 日



古 賀 顕 昭
（富津シティ RC）
生命保険
4 月 6 日



梨 和 隆 一
（富津シティ RC）
金属技術
4 月 6 日



梶 間 雅 子
（松戸中央 RC）
証券業
4 月 7 日



鈴 木 孝 道
（柏西 RC）
消防機材
4 月 8 日



田 中 晋
（船橋 RC）
旅行業
4 月 12 日



高 島 俊 治
（君津 RC）
スラグ製造販売
4 月 18 日



土 肥 剛
（銚子東 RC）
普通銀行
4 月 19 日



鈴 木 隆 昌
（木更津東 RC）
製鉄業
4 月 20 日



石 渡 雄 悟
（館山 RC）
商業銀行
4 月 20 日



東 祥 三
（銚子 RC）
大学
4 月 20 日



岡 功 士
（成田 RC）
空港運輸
4 月 22 日



小 林 さ お り
（柏西 RC）
証券業
4 月 22 日



城 所 義 之
（館山 RC）
生命保険
4 月 27 日



仲 澤 健 二
（成田コスモポリタン RC）
信用信用金庫
4 月 27 日



小 林 正 一
（印西 RC）
不動産
5 月 1 日



浅 野 隆
（佐倉 RC）
地方銀行
5 月 2 日



中 村 旬 治
（船橋 RC）
商業銀行
5 月 10 日



深 谷 浩 之
（習志野 RC）
地方銀行
5 月 11 日

物故会員（敬称略）



林 省三（成田コスモポリタン RC）
逝去日：2022 年 4 月 19 日
（享年 86 歳）

国際ロータリー第 2790 地区（千葉）出席・会員数報告（2022 年 4 月）

グループ	クラブ名	出席率 (%)	例会数	会員数				
				2021 7/1	女性	当月	女性	増減
第 1 グループ	市 川	100.00	2	42	4	38	3	△ 4
	市 川 東	100.00	3	37	1	36	1	△ 1
	市 川 南	88.00	4	20	2	20	2	0
	浦 安	77.30	3	40	2	37	2	△ 3
	市川シビック	72.50	4	30	0	30	0	0
	浦 安 ベ イ	55.55	3	18	4	21	3	3
第 2 グループ	平 均	82.23	3.17	31.17	2.17	30.33	1.83	△ 5
	船 橋	95.40	3	29	0	29	0	0
	船 橋 西	79.35	4	27	6	24	4	△ 3
	鎌 ケ 谷	79.59	4	26	1	27	1	1
	船 橋 東	70.62	4	26	2	24	2	△ 2
	船 橋 南	84.09	4	13	2	13	2	0
第 3 グループ	船 橋 み な と	80.56	3	16	2	16	2	0
	平 均	81.60	3.67	22.83	2.17	22.17	1.83	△ 4
	千 葉	76.28	4	105	5	108	6	3
	新 千 葉	100.00	3	56	0	55	0	△ 1
	千 葉 西	90.57	3	47	5	46	5	△ 1
	千 葉 中 央	100.00	3	25	1	25	1	0
第 4 グループ	千 葉 幕 張	67.68	3	28	3	33	4	5
	千 葉 東	78.69	3	23	1	25	1	2
	千 葉 若 潮	88.46	2	33	1	32	1	△ 1
	平 均	85.95	3.00	45.29	2.29	46.29	2.57	7
	千 葉 南	78.04	3	45	2	44	2	△ 1
	市 原	56.73	2	65	5	73	5	8
第 5 グループ	千 葉 港	77.27	2	22	2	24	4	2
	市 原 中 央	62.85	4	40	1	38	1	△ 2
	千 葉 北	72.41	2	29	4	29	4	0
	千 葉 緑	87.50	2	23	2	23	2	0
	平 均	72.47	2.50	37.33	2.67	38.50	3.00	7
	木 更 津	76.00	3	28	4	27	4	△ 1
第 6 グループ	上 総	62.49	4	14	0	15	0	1
	富 津 中 央	67.14	4	31	3	33	4	2
	木 更 津 東	79.96	4	41	7	42	7	1
	君 津	83.62	4	56	5	57	7	1
	袖 ケ 浦	86.54	4	25	3	24	3	△ 1
	富 津 シ テ ィ	73.30	3	12	1	15	1	3
第 7 グループ	平 均	75.58	3.71	29.57	3.29	30.43	3.71	6
	館 山	81.83	4	48	4	50	4	2
	鴨 川	75.84	3	30	5	28	5	△ 2
	勝 浦	91.40	3	36	4	35	4	△ 1
	千 倉	90.00	2	4	2	5	2	1
	鋸 南	77.77	3	13	2	12	1	△ 1
第 8 グループ	館 山 ベ イ	65.50	4	25	0	26	0	1
	平 均	80.39	3.17	26.00	2.83	26.00	2.67	0
	茂 原	82.00	3	53	3	54	4	1
	東 金	78.79	3	18	3	23	3	5
	大 原	92.50	4	11	2	10	1	△ 1
	大 多 喜	78.56	2	8	1	7	1	△ 1
第 9 グループ	成 田 空 港 南	77.71	3	24	0	25	0	1
	茂 原 中 央	81.64	4	24	3	27	3	3
	大 網	76.67	4	30	2	30	2	0
	東 金 ビ ュ ー	80.00	2	10	1	10	1	0
	平 均	80.98	3.13	22.25	1.88	23.25	1.88	8
	平 均	80.98	3.13	22.25	1.88	23.25	1.88	8

グループ	クラブ名	出席率 (%)	例会数	会員数				
				2021 7/1	女性	当月	女性	増減
第 8 グループ	銚 子	80.40	4	37	4	38	4	1
	旭	70.70	2	37	3	38	3	1
	八 日 市 場	72.70	3	39	3	39	3	0
	銚 子 東	70.72	4	30	3	29	3	△ 1
	平 均	73.63	3.25	35.75	3.25	36.00	3.25	1
	平 均	73.63	3.25	35.75	3.25	36.00	3.25	1
第 9 グループ	佐 原	72.50	3	42	0	43	0	1
	多 古	71.93	4	17	0	17	0	0
	小 見 川	87.50	3	27	0	27	0	0
	佐 原 香 取	93.33	2	20	0	20	0	0
	平 均	81.32	3.00	26.50	0.00	26.75	0.00	1
	平 均	81.32	3.00	26.50	0.00	26.75	0.00	1
第 10 グループ	成 田	70.90	4	60	6	64	7	4
	八 街	92.99	3	25	2	25	2	0
	印 西	88.86	3	10	1	10	1	0
	白 井	84.84	3	12	1	11	1	△ 1
	富 里	58.11	4	33	1	36	1	3
	成田コスモポリタン	59.24	4	70	0	68	0	△ 2
第 11 グループ	平 均	75.82	3.50	35.00	1.83	35.67	2.00	4
	柏	61.11	4	63	9	64	9	1
	我 孫 子	79.16	4	31	3	32	3	1
	柏 西	79.90	4	57	3	56	5	△ 1
	柏 東	71.20	3	32	4	32	4	0
	柏 南	83.18	3	38	9	38	9	0
第 12 グループ	平 均	74.91	3.60	44.20	5.60	44.40	6.00	1
	習 志 野	74.87	4	30	1	27	1	△ 3
	八 千 代	85.98	4	54	0	53	0	△ 1
	佐 倉	70.64	4	35	3	42	3	7
	八 千 代 中 央	67.10	3	25	1	25	1	0
	四 街	69.50	4	27	4	27	4	0
第 13 グループ	習 志 野 中 央	72.59	3	42	5	43	5	1
	佐 倉 中 央	65.22	4	22	6	22	6	0
	平 均	72.27	3.71	33.57	2.86	34.14	2.86	4
	松 戸	97.55	4	60	0	57	0	△ 3
	松 戸 東	89.13	4	45	0	43	0	△ 2
	松 戸 北	77.12	4	32	0	33	1	1
第 14 グループ	松 戸 中 央	76.71	4	30	6	32	7	2
	松 戸 西	80.43	4	24	0	23	0	△ 1
	平 均	84.19	4.00	38.20	1.20	37.60	1.60	△ 3
	野 田	85.72	4	56	6	56	4	0
	流 山	63.67	3	16	3	19	4	3
	野 田 東	76.47	4	18	0	17	0	△ 1
第 15 グループ	流 山 中 央	67.50	2	19	1	20	1	1
	野田セントラル	85.71	5	22	1	21	1	△ 1
	平 均	75.81	3.60	26.20	2.20	26.60	2.00	2
	平 均	75.81	3.60	26.20	2.20	26.60	2.00	2
	平 均	75.81	3.60	26.20	2.20	26.60	2.00	2
	平 均	75.81	3.60	26.20	2.20	26.60	2.00	2

クラブ数 82RC		
2021 年 7 月 1 日	地区会員数	2,643 人
2022 年 4 月 末 日	地区会員数	2,672 人
2021 年 7 月 1 日	地区女性会員数	202
2022 年 4 月 末 日	地区女性会員数	208
当月平均出席率		77.99%
増減		29
女性会員増減		6

ガバナー月信発行についてのお知らせ

1月号より月信は紙媒体からデジタル媒体に移行しました。この取り組みは「環境の保全」取り組みの一環として、紙資源の保全だけでなく、運搬や廃棄にかかわる CO2 排出削減にも寄与します。小さな取り組みですが私達の意識を変える一歩になると確信しています。

尚、デジタル媒体での入手困難な会員向けに、当面、各クラブ向けに5～10部の印刷物も配布いたします。引き続き多くの会員に読んでいただける月信創りを目指す所存でございますので、皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

ガバナー 梶原 等

ロータリーレートのご案内

↓ 地区HP

ロータリーレートのご確認につきましては、「地区HP」をご確認いただきますようお願い申し上げます。

